

MUTSU

CAMPUS

学びたい場所が、
ここにある。

青森大学
むつキャンパス



目 次

- 03 むつ下北を知る
- 05 学部ピックアップ
- 07 総合経営学部 紹介
- 09 ソフトウェア情報学部 紹介
- 11 青森大学むつキャンパスの「キャリアサポート」
- 13 インターンシップに行ってきました！
- 15 キャンパスライフ
- 17 学生の1日
- 18 Q&A むつキャンパスを知ろう！
- 19 受験情報
- 21 施設マップ
- 22 関連機関



むつ下北を知る

青森大学のカリキュラムは、専門科目に加えて、教養教育（基礎スタンダード科目）を基礎としています。むつキャンパスでは、この教養教育を通じて、むつ下北を知り、その未来を創っていくことを目指します。

▶ むつ市議会議員との意見交換会



「若者が住みたいまちって？」をテーマに、日頃の生活で感じていることや、大学生ならではの要望などを交えて意見を発表しました。

▶ かわうち・まりん・びーち LIGHT UP FES 2024



インターンシップ（サンモールワイナリー）に参加した4年生が、「牛肉部位当てゲーム」「牛肉重さ当てゲーム」を企画し出展しました。

▶ おしまこ流し踊り



13団体・600人を超える踊り手が田名部まつりを彩りました。本キャンパスからは4名の学生がそれぞれの所属団体で活躍しました。

▶ 第3回むつ下北未来創生 キャンパス祭



青森中央学院大学、弘前大学、青森明の星短期大学、青森大学の4校合同で開催され、本キャンパスからは5名の学生が実行委員として舞台裏・表で活躍しました。

▶ むつ市・会津若松市姉妹都市締結 40周年記念講演会



両市の歴史について学ぶ機会を得ながら、むつ市にゆかりのある偉人「柴五郎」に焦点を当て、彼の生涯と功績を「斗南一人、柴五郎」と題し発表しました。

▶ 第23回ふるさと自慢 わがまちCM大賞



本キャンパス3年生が参加した風間浦村の作品が、優秀賞（みちのく銀行特別賞）を受賞しました。作品名：いいじやなイカ風間浦村

教員メッセージ



科目担当教員
小寺 将太

「地方創生ってなんだろう？」そんな問いに対して、むつキャンパスでは実践的に学ぶ環境が揃っています。近年、人口減少が起因となり、多くの地域課題が存在しています。下記の講義では、地方創生に関わる歴史や施策などヒントをインプットします。ヒントを得た後、様々な実践者を招聘し、時にはフィールドワークに出かけて得た知識をアウトプットしていきます。理論や知識だけではなく、課題解決のプロセスも実践的に学べる講義が多いのがむつキャンパスです！ぜひ、むつキャンパスでむつ下北を盛り上げていきましょう！

科目名 教養コア特講

地方創生についての基礎的な知識を身につける講義です。本講義では、特に青森県内・下北地域の地方創生に関わる取り組みを体系的に学びます。講義形式のみならず演習形式と組み合わせ、将来、地方創生に関わるプレイヤーとして活躍できるよう、様々な手法も実践的に学んでいきます。



科目担当教員
小池 拓矢

むつキャンパスが位置するのは、本州最北端の下北半島。私が専門とする「観光」の視点から見ると、アクセスや人手不足など不利な条件を抱えている一方、まだ誰も手を付けていない魅力が眠っている土地でもあります。むつキャンパスの講義では、そんな下北半島をフィールドに、地域課題の解決に向けた取組も扱っていきます。この地域だからこそ、人と自然、人と人との関係性について深く入り込んだ上で、単に「学生」というだけでなく、地域の一員として、一緒に学び、活動していきたいと思います！

科目名 コミュニティ専門演習（小池ゼミ）

ゼミでは、卒業論文の執筆に向けた準備とともに、むつ下北をフィールドとして、学生自身が地域課題の解決や、地域を盛り上げるためのプロジェクトを企画から実施まで行います。チームとしてプロジェクトに取り組むなかで、他者との関わり方について実践的に学び、自分自身の性格や得意分野を再発見することを目指します。



第11回青森地域フォーラム

令和7年2月15日（土）「未来の選択肢を増やすために青森大学ができること」と題し、むつ下北地区に焦点を当てフォーラムを開催しました。青森大学の教員や学生の地域連携に関連する研究・活動報告を行い、地域住民の皆様と地域連携や若者の未来の選択肢を考える機会となりました。



おしまこよさこい

令和6年8月11日（日）會舞道 郷人しもきた公演における「おしまこよさこい」に参加しました。むつ市と会津若松市の姉妹都市締結40周年という節目に、新たな歴史を後世につなぐきっかけとなる貴重な経験をさせていただきました。



学部ピックアップ

新時代の学び 2 学部到新コース



変化の波を捉え、新しい地域社会を共に「創る」

総合経営学部 「地域マネジメントコース」新設

「地域マネジメントコース」の学びの循環

—— 地域住民の声をもとに、課題を解決したい

地域の現状を正しく把握し、データに基づく課題解決力を養う——それが「地域マネジメントコース」です。人口減少やインフラの老朽化、自然災害といった社会問題は日本をはじめ世界中で深刻化しています。このような普遍的な課題に対し、「地域マネジメントコース」では社会調査やデータ分析を活用し、経営的視点から実効性のある地域づくりの方法を探ります。

—— 思いを形にする学び

企業・行政・地域住民と連携した、地域課題の多角的評価。青森をフィールドにした実際のデータ収集と分析。本コースは強みやリスクを的確にとらえ、効率的な事業モデルや具体的な政策を提案する力を養います。学びと体験を通じて、実践力を発揮できる人材の育成を目指します。フィールドワークやデータの具体的な分析手法を学ぶ授業も充実しており、起業や自治体職員、シンクタンクなど、多彩なキャリアにつながります。



本コースでは、学び・体験・実践の学習モデルをもとに、多くの成長機会を提供します。



急激な社会変化に対応した実践的な学びを展開していくため、2026年度より社会学部は募集停止となり、これまでの社会学部の学びの領域が総合経営学部とソフトウェア情報学部の新コースに発展的に継承されます。

これからの時代を担うデジタル人材の育成

ソフトウェア情報学部 「インターフェースコース」新設

理系と文系の異なる視点が交差することで、
社会の課題に対して
新しい解決策を提供する力を養います。

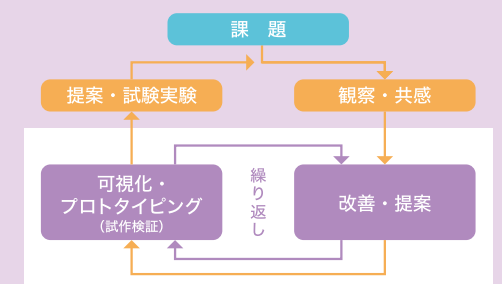
「インターフェースコース」では、地域やビジネス、健康や多文化共生の中で抱える「課題」と、「情報技術」の知識をつなぎ合わせることで、これまで解決できなかった課題の解決や、より効率的な仕組みを構築できる人材の育成を目指します。また、4つのモデルカリキュラムを用意。推奨科目を履修することで、自身の興味や強みを追求した学びを実現します。

そもそも「インターフェース」ってなんだろう？

異なるシステムや領域をつなぎ、相互に作用するための接点や橋渡しの役割を果たすもの、それがインターフェースです。

「インターフェースコース」の学び II 探求ループ

地域における「課題」をさまざまな「情報技術」によって解決・改善していくため、両者をつなげる仕組みとして、デザイン思考[※]に基づいた「探求ループ」を用います。当事者の目線で課題を「観察・共感」し、より価値の高い「改善アイデア」を導き出し、そのアイデアを情報技術を用い「試作・可視化」、みんなで検証する過程を繰り返します。



※課題解決のために用いられる手法。「共感」「定義」「概念化」「試作」「テスト」の5つのプロセスで構成されます。



じっくり自分、
しっかり未来。

理系と文系を融合し、
社会課題を解決する力を育む
「インターフェースコース」で、
新しい未来を切り拓こう！

「自分の好き」につなげよう

企業は資金、設備、社員等で構成されており、ヒト・カネ・モノ・ジョウホウをいかに活用して運営していくかがポイントになります。また、市場分析や顧客ニーズも重要です。

世の中は、AIやITの活用、SDGsの視点の必要性など目まぐるしいスピードで変化しています。今後、経営学の視座で俯瞰することは、企業のみならずスポーツのチーム作りや観光開発、家族や友人等のコミュニティ形成にも大いに役立つはずです。

経営学で学んだことを「自分の好き」につなげて欲しいと思います。



総合経営学部
前田 済 学部長

授業紹介

科目名 | 国際経済論
担当教員 沼田 郷

担当教員より

世界を知ることで見えるものがたくさんあります。より深く日本を理解できるかもしれません。今まで知らなかった世界の扉を開く楽しさを感じてください。

▶ 科目の内容

我々の生活は諸外国との関係抜きには成立しません。試しにみなさんが普段食べているもの、着ているもの、使用しているものがどこで生産されたものか確認してみてください。また、毎日のように見聞きする「グローバル化」の理解を深めることは、今日の世界を読み解くために必要不可欠です。

一方で、これらを理解することが容易でないことも事実です。したがって、本講義では世界を読み解くために必要となる基礎的な理論と実態経済をバランスよく学んでいただけるよう配慮しています。

※履修する科目（資格取得等）によっては、一部青森キャンパスで履修が必要となる場合があります。



地域マネジメントコース

経営的視点で地域課題を分析し、持続可能な地域づくりを目指します。青森をフィールドに多彩な手法で実践的に学び、企業・行政・住民と連携しながら解決策を導く力を養います。地域の発展に貢献し、学びを通じて新たな可能性を広げます。

フィールド・ツーリズムコース

青森県には、たくさんの魅力的な自然資源があります。青森オリジナルの新たなマーケティング開発の手法を学び、地域によって持続可能な未来志向の企画をすることによって、自然を生かし、体験を取り入れた新たな観光産業を立ち上げる人材育成を目指します。

スポーツビジネスコース

スポーツを経営・ビジネスの観点から学ぶコースです。スポーツに関する法律、スポーツ施設の管理運営、公認スポーツ指導者の資格・育成、スポーツクラブの運営などを学びます。また、保健体育の教員免許取得に必要な科目も用意しています。

ビジネスイノベーション・会計コース

企業経営を支えるマネジメント能力、ビジネススキル、財務・会計に関する知識を身につけるコースです。実践的な講義、学びを深めるゼミ活動、地域との連携を通じた課外活動等で多面的なスキルを磨きます。資格取得や就職活動のサポートも充実しており、グローバルなビジネス社会で活躍する人材育成を目指します。

観光産業とは？

観光産業には、空港や鉄道などの交通業、ホテル・旅館など宿泊施設や土産品店、飲食店など宿泊販売業も含まれます。

これに加え、様々な体験を組み入れた新たな観光事業を立ち上げる人材が必要です。

民間企業や地域団体と連携し、地域の魅力を磨き上げ、新たな観光産業を創りあげる時です。



在学生インタビュー

工藤 俊輔

総合経営学部 2年
青森県立六ヶ所高等学校



学ぶことの楽しさ

社会人を経験した私が総合経営学部を選択した理由、それは「経営学とは何か？」を探究することです。1年次で学ぶ経営学は、基礎的でありながら興味深い内容で、学べば学ぶほど知的好奇心を刺激され、知識を蓄えることの喜びを改めて実感しました。また一方では、日商簿記検定2級取得を目標に日々努力しています。学んだ知識が糧となり将来に活かされるよう、これからの大学生活を好奇心旺盛に励んでいきたいです。

藤原 愛佳

総合経営学部 2年
青森県立大湊高等学校



夢に向かって一歩ずつ前進

高校の文化祭でリーダーを務め、ゼロから何かを作り上げる楽しさを実感したことがきっかけで、将来イベント会社を起業したいと考え、総合経営学部を選びました。1年次では、文化祭の実行委員や市議会議員との意見交換、長期インターンを通じて多くを学びました。2年次からは、青森キャンパスで体育教員の資格取得を目標に努めています。運動やスポーツの重要性を深く理解し、イベントを通して人々に楽しさや健康を届けたいです。

情報技術で 世界にチャレンジ

情報技術（IT）はあらゆる分野の仕事や社会を変革し、またインターネットによって地域や国、文化の壁をも飛び越えようとしています。

これからの世界を担う皆さんには職種・業種を問わず、ITによって生まれ変わるあたらしい世界で通用する本物の知識・技術を身につけることが求められるのです。

むつキャンパス・青森キャンパス・東京キャンパスから世界につながる新しい学びの場を、皆さんと一緒に作っていくことを楽しみにしています。



ソフトウェア情報学部
黒田 茂 学部長

授業紹介

科目名

プログラミング演習

担当教員 藤澤 日明

担当教員より

プログラミング経験がなくても大丈夫です。
分からないことは何でも質問し、教員・ワ
スメイトと協力して技術を習得しましょう。

▶ 科目の内容

1年生を対象としてプログラミングの初心者でもわかり易いProcessingの開発環境を用いて、テーマに沿って小規模のソフトウェア開発を行います。4年間を通じて情報分野の基幹科目となるプログラミングを学ぶにあたって、最初の段階でソフトウェア開発の全体像を俯瞰しておくのが目的です。この講義を通じてプログラミングで出来ることや動作の仕組みといった技術を学び、またグループでの共同で行う開発作業を通じてコミュニケーションの難しさと重要性を理解していくことを目的とします。

※履修する科目（資格取得等）によっては、一部青森キャンパスでの
対面履修が必要となる場合があります。

最先端のカリキュラムで、論理的な思考力と実践的なスキルを磨きます。専門的な知識を深め、変化の速い時代に適応できる柔軟な思考を育み、未来に向けて自分らしいキャリアを描ける人材を目指します。

2つのコース、1+4つの「モデルカリキュラム」

ITスペシャリストコース

情報技術の進化を引き出す「本物のITスキル」を身につけ、IT業界はもちろん、様々な業種、地域で活躍する人材を育成します。

ITスペシャリスト系

コンピュータネットワーク、IoT、人工知能、オペレーティングシステム、コンピュータアーキテクチャ、情報理論など、情報工学の基礎を深く学びながら、自分が興味をもった分野に関するPBLを通して実践的なスキルを磨くモデルカリキュラムです。



インターフェースコース

理系と文系の異なる視点が交差するこれまでにない新しい学び。地域やビジネスで抱える問題を情報技術の視点で解決できる人を育てます。

地域問題解決系

地域社会学や社会調査などの社会学の基礎を身につけながら、地域社会の課題をテーマとするPBLを通して実践的なスキルを磨くモデルカリキュラムです。ITを活用して地域社会の未来をつくる人材を育成します。

ビジネス課題解決系

経営戦略論や金融論、サービス産業論や経営組織論などの経営学の基礎を学びながら、地域のビジネス課題をテーマとするPBLを通して実践的なスキルを磨くモデルカリキュラムです。ITを活用したビジネスを通して地域社会の未来をつくる人材を育成します。

健康課題解決系

福祉や健康に関する基礎科目を学びながら、それらに関する課題をテーマとするPBLを通して実践的なスキルを磨くモデルカリキュラムです。ITを活用した福祉や健康の実現を通して地域社会の未来をつくる人材を育成します。

多文化共生系

多文化共生論や日本語論、英語やリーダーシップ論などを学びながら、多文化共生をテーマとするPBLを通して実践的なスキルを磨くモデルカリキュラムです。ITを活用したコミュニケーションの場の創出や仕組み作りを通して地域社会の未来をつくる人材を育成します。

新しい学びの提供

全てのモデルカリキュラムをつなぐ糊（のり）となる
[共通必修科目]の設定

多様な興味に応える柔軟性の高い カリキュラム構成

- ・各モデルカリキュラムについて推奨科目群（コア）を設定。
 - ・共通必修科目と推奨科目の他は、選択科目のリストを参考に各自でアレンジ。自分の興味や強みを追求した学びを実現*。
- ※インターフェースコースの演習系科目については人数制限があります。

習熟度に応じて丁寧に学ぶ

プログラミング科目では習熟度に応じたグループに分かれて納得がいくまで学びます。
はじめてプログラミングに触れる人も自分にあったペースで丁寧に学べるので実力が身につきます。

学習アドバイザー

少人数での教育体制を取っています。各学生に担当の教員が必ず付き、学修到達の確認だけでなく、メンタル的なフォローも行います。学生と教員とが話し合うことにより互いに理解を深め、講義や進路、日常生活について不安を取り除きます。

共通必修科目

デザイン思考、AI活用、
PBL（課題解決型学習）+IT基礎科目群

在学生インタビュー

佐藤 礼

ソフトウェア情報学部 3年
青森県立田名部高等学校



下北からITで地域に役立ちたい

高校時代からパソコンを使う仕事に興味があったので、地元で学べることが嬉しいです。ほぼ初学者の私にはハードルが高いかと思っていましたが、教職員の方々の丁寧なサポートのおかげで、自分の興味があることに全速力でアクセルを踏み切ることができました！将来はここで学んだ知識やスキルを活かせるような仕事に就きたいです。

渡辺 叶愛

ソフトウェア情報学部 4年
青森県立田名部高等学校



自分らしく輝くための専門性を学ぶ

ソフトウェア情報学部ではプログラミングはもちろんのこと3D技術など幅広く専門的な情報技術について学ぶことができます。また、学外実習では実際に県外に出てVRやメタバースなどの最先端の技術を見に行くこともできるので非常に魅力的な学部となっています。私は将来ITを活用できる仕事に就きたいと考えているのでこの知識や経験を活かし、少しでも地域の発展に貢献していきたいです。

青森大学むつキャンパスの「キャリア サポート」

キャリアデザイン



「キャリアデザイン」とは、自分の人生を自らの手で主体的に構想・設計することです。就職活動に必須となる種々の対策を行い、万全の態勢で臨めるよう、「就活マナー」をはじめ「履歴書の書き方」「面接対策」「SPI試験」など、就職サポート企業の協力も得ながら、スキルアップを進めていきます。また、社会人となった自分を具体的にイメージできるように、先輩や社会人のキャリアデザインの実践を理解し、業界研究・企業研究の方法を学びます。

私のキャリアサポ体験談

礼儀や面接についてなどキャリアについて一から指導してもらい、就職活動をスムーズに進めることができました。1年次から長所や強みなど自分について知ることができたため、早めに対策をとることで自信を持って就活できています。

(社会学部 4年 / 松尾 祈 青森県立大湊高等学校)



SPI・公務員試験対策講座



市役所や消防、警察の採用試験で出題される「教養科目」の対策ができます。1年次は基礎講座、2・3年次は実践講座とステップアップ式の戦略型カリキュラムとなっています。一般知能、政治、経済、人文科学など専門教員による講座の受講ができます。1年次から3年次まで継続受講で50%割引が適用となり、費用を抑えた受講料となっています。企業が人材採用を行う際に実施している「SPI試験」の対策講座も実施しています。

私のキャリアサポ体験談

私は数学の分野が苦手でしたが、分かりやすく教えてくださったためやる気向上にも繋がりました。問題を解説してから各自で解く形式なので内容が頭に入ります。模試を受け分らない部分が多かったため、今後の勉強に役立てようと思いました。

(社会学部 4年 / 長内 桃香 青森県立大湊高等学校)



公務員講座

青森大学では就職人気ランキング上位の「公務員」合格に向けて、公務員試験対策講座を運営している「東京アカデミー」とのコラボレーションにより、公務員講座を行っております。

企業が人材育成を行う際に実施している「SPI試験」の対策講座も実施しています。

POINT 1

ステップアップ式の戦略型カリキュラム

POINT 2

継続受講で受講料が50%割引

POINT 3

やむを得ず講座を欠席しても、録画で受講可能

※青森キャンパスからの配信講座となります。 ※全学部受講可能です。

Q. キャリア支援課を利用してどうだった？

学生の声

Q. 保護者からのサポートは？

一人で悩んでいたのが解消！
些細なことでも早めの相談が◎！

知らなかった企業の
探し方を教えてくれた！

面接で失敗した私をいつも励ましてくれた！
おかげで苦しい時期を乗り越えられた！

やりたいことを全力で応援してくれた。
資金援助にも感謝しています！



SUPPORT PICK UP

01



1年次からのキャリア支援

1年次から就職を意識した学生生活を送れるように、キャリア支援についてガイダンスを実施します。大学生活でやるべきことが明確となり将来を見据えたスケジュールを組むことができます。

02



就職支援機関との連携

ハローワーク・就職支援企業とも連携し、求人票以外の情報や県市町村の雇用施策など、相談を受けながら説明します。また、講座やセミナーなども多数開催しています。

03



個別指導

履歴書・エントリーシート・送付状の添削、ビジネスメールなど、個別に対応します。カウンセリングを重ね、自己分析のサポートをします。

04



面接対策

身だしなみやコミュニケーション、質疑応答など、本番同様の緊張感のなか納得がいくまで対策できます。オンライン・対面面接に合わせて、それぞれの特性を理解した面接指導を行います。

職種に特化した特別講義

地方自治体、金融機関、マスコミ、大手企業等を就職先に選ぶ2・3年次の学生を対象に、2学部（総合経営学部・ソフトウェア情報学部）より受講生を募り特別講義を行います。



インターンシップに行ってきました！



「株式会社東京堂」に行ってきました！

SNSを活用し、 ヤマハ音楽教室の魅力や情報を発信！

株式会社東京堂で運営しているヤマハ音楽教室の情報や魅力をSNSを活用して発信し、入会につなげるミッションを担いました。従業員同士互いに助け合いながら業務に励む様子や、大きいテーブルに集まって昼食を食べる明るい雰囲気が印象的でした！SNSマーケティングのコツや計画立案の力を伸ばすことができ、有意義なインターンシップでした。

(社会学部 4年 / 坂本 翔琉 青森県立大湊高等学校)



「東通村商工会」に行ってきました！

ホームページのデザイン考案や 広報紙の業務に挑戦!!

新規に作成されるホームページのデザイン考案・土台作り、広報紙新規発行の業務を任されました。商工会の皆様は業務の傍ら話しかけてくださり楽しく仕事ことができました。また、商工会に対するイメージが今回のインターンシップを通じて大きく変わり、地域を想い働く人の姿勢や志に感銘を受けました。

(社会学部 4年 / 谷川 蒼空 青森県立大湊高等学校)

インターンシップに行ってきました！

学生の声



「むつ市役所 ジオパーク推進課」に行ってきました！

ジオパーク推進課では、庶務、ジオパーク全国大会下北大会実行委員会の解散総会の受付と記録、ジオパーク通信3月号の作成、ピジターセンター展示案の作成を担当させていただき、全体を通し初めて経験したことが多く全てが勉強になりました。担当の葛野さんからは、業務に対する姿勢や社会人としてのコミュニケーション能力を直に学びました。また、様々な面でサポートいただき、楽しみながら業務を行うことができました。今回のインターンシップを通して、自分の将来像を再確認し、今まで以上に就活への意識が高まりました。この経験を活かせるよう、今後、更に就活に力を入れたいです。

川嶋 真実 [社会学部 4年 / 青森県立田名部高等学校]

今回のインターンシップでは、SNSや定期通信などでの情報発信をはじめ、会議の準備や、下北ジオパーク拠点施設の展示を考えてもらうなど、多くのことを経験していただきました。その中で、特に印象的だったのは、積極的にメモを取り、自分なりに考え、わからないことはまず自分で調べるといった仕事に前向きな川嶋さんの姿です。また、日誌を読んでいると、普段から周りをよく観察し、様々な「気づき」を得ているのだと、驚かされました。そのスキルを強みとして、積極的にチャレンジしていく姿を、今後見られることを期待しています。

担当：葛野 桃子 さん

企業の声



学生の声



「東通村役場 企画課」に行ってきました！

公務員や小さな自治体の仕事を体験したく東通村役場に応募しました。わからないことをすぐに相談できる明るく親しみやすい職場環境のおかげで、隣席の方だけでなく課の皆様と打ち解けられ、良い緊張感を持って過ごすことができました。業務ではチラシの作成、各種会議への参加、オンデマンドタクシー利用数の集計などを担当し、それぞれを通して、住民の方と交流したり、地域や村の課題を知ることができたりと非常に勉強になりました。今後は自分が社会にどう貢献できるかを考えながら、強みを活かせる企業を見極め積極的に就活に取り組みたいです。

小向 瑠菜 [社会学部 4年 / 青森県立田名部高等学校]

2024年4月より、東通村として初めての長期の有償インターンシップ受入れを行い、青森大学むつキャンパス3年の小向瑠菜さんが来ていただきました。

小向さんは、学業と並行しながら企画課に所属し、様々なイベントや村の施策に関する事業に積極的に参加してくださり、学生ならではの目線で、いつも新鮮な意見を下さいます。

これまでに小向さんが手掛けたデザインは、これからも村を象徴するものになっていくでしょう。

担当：東通村役場 企画課 須田 翔多 さん

企業の声



学生の声



「ドン・キホーテ PPIHグループ 中目黒店」に行ってきました！

以前から小売業に興味があり、中でもドン・キホーテの経営方針が同業他社と異なる点が気に入り応募を決めました。担当の松川さんにはとても良くいただき、説明が丁寧でわかりやすく、お忙しい中でも気兼ねなく雑談していただき嬉しかったです。業務では店舗品出し、店舗改装の手伝い、商品仕入れから販売までの一連の流れなどを担当しました。自分のコミュニケーション能力を活かし、従業員の方や他校のインターン生に良い刺激をもらいながら楽しく仕事ができたと感じます。今回の経験を糧に、今後も企業研究を欠かさずに就職活動を行っていきたいです。

剣地 透也 [総合経営学部 4年 / 青森県立田名部高等学校]

本社のインターンシップ・プログラム「5Days Internship "Journey of Discovery"」へ参加いただきました。このプログラムは、ルーティンワークだけでなく、実際の商談やPOP制作などTheドン・キホーテを感じられる濃い内容となっています。

そんな中、楽しみながらも常に真剣に取り組む裏表のない真摯な姿勢や特に印象的だったのは、チームで行動する際に周囲を巻き込む人間性の部分。今後、多くの変化や経験の中で“進化”していく姿を見たいと私に思わせてくれました。

担当：株式会社バン・パシフィック・インターナショナルホールディングス 人材本部 リクルーティングマネジメント部 新卒採用課 松川 翼 さん

企業の声



キャンパスライフ

サークルや部活動をはじめ、学生の普段の様子や様々なイベントなど
大学生活の一部を紹介します！



学生の1日

大学生ってどんな1日を過ごしてるの？
学生の日常を覗いてみよう！

こんな平日を過ごしています




6:00 起床

9:00 講義

12:00 お昼休み

13:00 空きコマ

18:00 アルバイト

22:00 帰宅

23:00 自宅学習

0:00 就寝

自宅学習時には少しでも苦手の簿記を復習しています。授業で取ったノートを元に苦手な部分を重点的にやり、得意な部分も取り入れ日商簿記検定2級取得に向けて頑張っています。

布施 天歌
〔総合経営学部 2年 / 青森県立田名部高等学校〕

講義や課題では内容が重視されるため、その場で知識を吸収するべく先生の話に集中しています。一方で空きコマや放課後には、個性豊かで元気な友人たちと、他愛もないことで笑いあったりお菓子を買いに出かけたりと楽しく過ごしています。

こんな平日を過ごしています




8:00 good morning

9:00 CM撮影

12:00 ランチ

15:00 稽古

18:00 帰宅

19:00 ディナー

21:00 ゲームタイム

23:00 台本読み

0:00 good night

劇の稽古では念入りの発声練習と体操から始まります。脚本はありましたが細やかな動きはキャラクターに合わせて自分たちでどんどん付け足したり変更したりしてより良い構成をつくり続けました。大変でしたがそれ以上に楽しく滅多にない経験になりました。

山口 溪聖
〔総合経営学部 3年 / 青森県立大湊高等学校〕

基本インドアですが、イベント参加や地域の集まりで1日中駆け回っている時もあります。昨年度は市民劇やCM大賞、その他多数事業に参加。中でも市民劇では大役に挑戦し、本番まで仲間と共に駆け抜けた日々が貴重な経験となりました。

Q&A むつキャンパスを知ろう！

Q1 下北地域外の出身でもむつキャンパスで学ぶことは可能ですか？

A 可能です。入学手続き時にむつキャンパスで学びたいことをお知らせください。

Q2 社会人からの入学者はいますか？

A 入学しております。
〈入学者の声〉数学や英語など、学生時代の授業についていけるか心配でしたが、担当教員が私にあった指導法で個別に対応してくださるので、現役学生はもちろん、社会人でも深い学びを得られることがむつキャンパスの魅力だと思います。

Q3 ほかの学部の授業も履修できますか？

A 本学では、所属する学部以外の授業を履修できる「他学部履修制度」があります。興味・関心のある分野を広く学ぶことで、視野を広げ、自身の学びをより深めることが可能です。（一部制限あり）

Q4 むつキャンパス以外でも学ぶことはできますか？

A 本学には「むつキャンパス」「青森キャンパス」「東京キャンパス」の3つの学びの場があり、学年やカリキュラムに応じて、いずれのキャンパスでも学ぶことが可能です（学年により制限あり）。また、それぞれのキャンパスをリアルタイムで繋ぐオンライン講義も展開しています。

Q7 経済的な理由で進学を迷ってます。支援制度はありますか？

A 本学は「高等教育の修学支援新制度」の対象校として文部科学省の認定を受けています。一定の要件を満たすことで、授業料等の減免や給付型奨学金を利用することができます。

世帯収入の目安	区 分	授業料等減免	給付型奨学金
非課税世帯 [～270万円]	第Ⅰ区分	満額 3/3	満額 3/3
準非課税世帯 [270万円～300万円]	第Ⅱ区分	2/3	2/3
準非課税世帯 [300万円～380万円]	第Ⅲ区分	1/3	1/3
非課税世帯 [～270万円] (多子世帯)	第Ⅰ区分 (多子世帯)	満額 3/3	満額 3/3
準非課税世帯 [270万円～300万円] (多子世帯)	第Ⅱ区分 (多子世帯)	満額 3/3	2/3
中間層 [300万円～380万円] (多子世帯)	第Ⅲ区分 (多子世帯)	満額 3/3	1/3
中間層 [380万円～600万円] (多子世帯)	第Ⅳ区分 (多子世帯)	満額 3/3	1/4
中間層以上 [600万円～] (多子世帯)	多子世帯	満額 3/3	—
中間層 [380万円～600万円] (理工農系学部等)	第Ⅳ区分 (理工農)	1/3	—

※表の内容は、申込みにあたっての目安となります。制度の詳細や最新情報については、日本学生支援機構（JASSO）ホームページでご確認ください。
※日本学生支援機構（JASSO）ホームページの進学シミュレーターでおおよその確認が出来ます。

大学独自の特待制度があります。 詳細は次ページ ➡

Q5 個別相談会は実施していますか？

A 実施しております。入試や大学についての疑問・質問を個別説明会で回答いたします。

Zoom 個別相談会

Zoomを使って進路相談!!
資料を見ながら説明を受けられます!

対 象: 高校生・保護者・高校教員
開催日時: 毎日開催 ※平日のみ
時 間: 最大60分 / 1回
申込方法: 完全予約制

※ご希望の日時に沿えない場合、電話もしくはメールにてご相談させていただきます。
※申込受付後、相談会専用の「アカウント」「パスワード」をメールで送付します。

対面での相談会

Zoomの個別相談の他、対面での相談会を希望する方も受付いたします。
むつキャンパス事務局へ、お気軽にご相談ください。

お申し込みはこちらから!



Q6 各キャンパスで学納金は異なりますか？

A どのキャンパスで学んでも学納金は同じです。各学部の学納金については、別冊「2026 青森大学入学者選抜ガイド・特待制度ガイド」をご覧ください。

日本学生支援機構（JASSO）
ホームページ



青森大学独自の特待制度

20

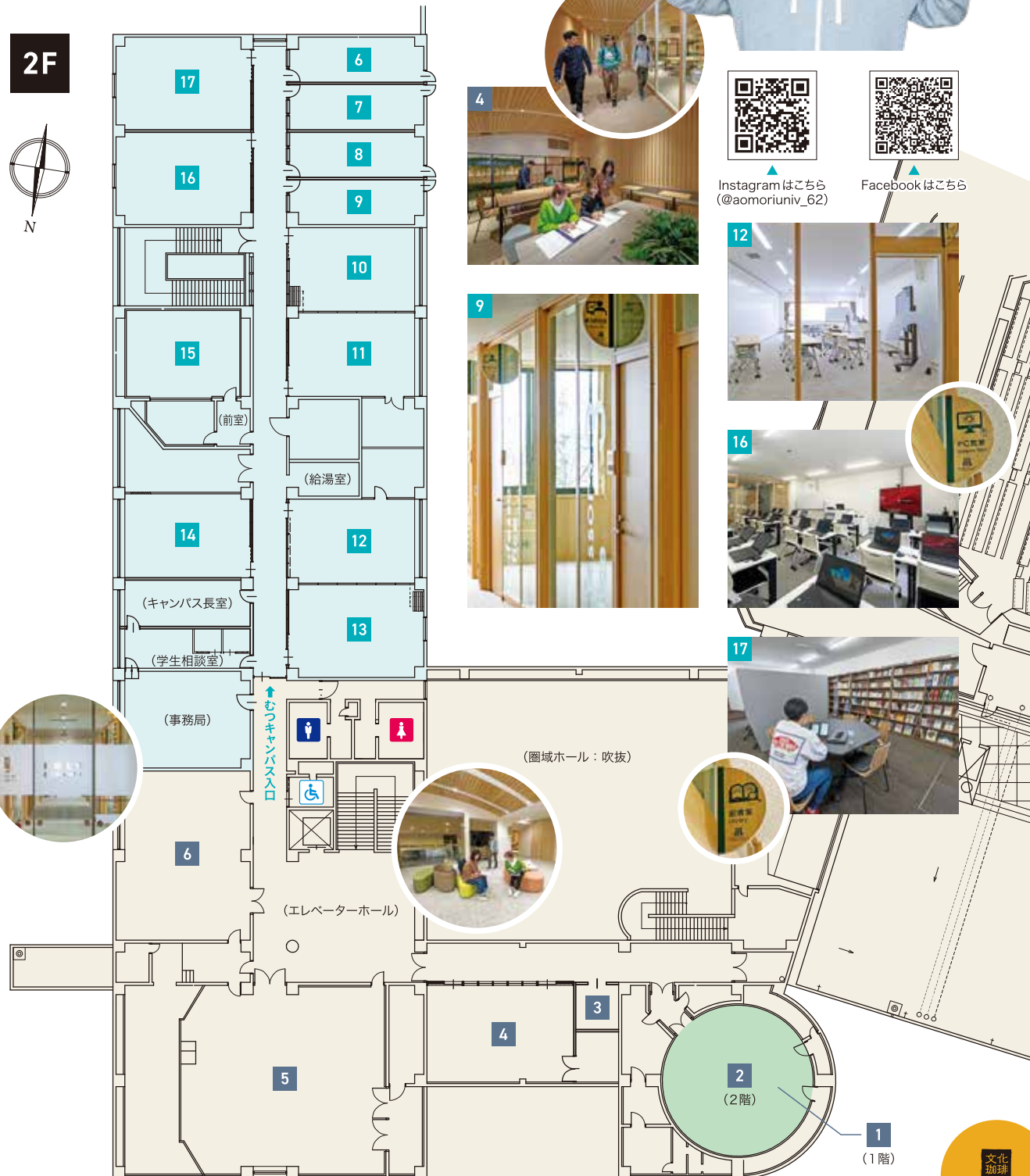
施設マップ



公式SNSアカウント
追加してね!



2F



【共有スペース】

- 1 下北文化珈琲店 (1階)
- 2 フィッシュボウルルーム
- 3 自動販売機
- 4 コミュニティラウンジ
- 5 大集会室
- 6 集会室

【むつキャンパス内】

- 6 第1研究室
- 7 第2研究室
- 8 第3研究室
- 9 第4研究室
- 10 第1教室
- 11 第2教室
- 12 第3教室
- 13 第4教室
- 14 第5教室
- 15 スタジオ
- 16 PC教室
- 17 図書室



関連機関



青森大学
AOMORI UNIVERSITY
総合経営学部 / ソフトウェア情報学部 / 薬学部



青森大学
むつキャンパス



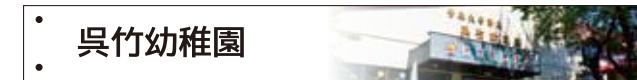
青森大学
東京キャンパス



青森山田高等学校
AOMORI YAMADA HIGH SCHOOL



青森山田高等学校
通信制課程 青森校・札幌校・東京校



呉竹幼稚園



青森山田中学校



螢ヶ丘幼稚園



むつキャンパス

〒035-0072

青森県むつ市金谷一丁目10-1 下北文化会館2F

Tel. 0175-31-0044 Fax. 0175-31-0145

<https://aomori-u.ac.jp/mutsu/>

青森キャンパス

〒030-0943 青森県青森市幸畑2-3-1

Tel. 017-738-2001 Fax. 017-738-0143

東京キャンパス

〒134-0087 東京都江戸川区清新町2-10-1

Tel. 03-6261-6399 Fax. 03-6261-6398

